

# ～予防接種費用の一部を助成します～

町では独自の制度として、定期（公費）ではない予防接種の費用の一部を助成しています。

今年度は子どもの「おたふくかぜ予防接種」に加え、50歳以上の人を対象に「带状疱疹予防接種」の助成を開始します。事前に申請し、指定医療機関で接種した場合のみ助成を受けることができますので、ご注意ください。

※すでに接種している人への払戻しはありません。

## ■带状疱疹予防接種

- ▶対象 50歳以上
- ▶接種回数 水痘ワクチン「ビケン」1回、または带状疱疹ワクチン「シングリックス」2回
- ▶助成額 1回に5,000円を補助 ▶自己負担額 各医療機関の接種費用から5,000円を差し引いた額
- ▶助成回数 どちらかのワクチン一方を生涯1度限り（シングリックスは2回分）
- ▶申込み 保健センターで予診票を交付申請後、指定医療機関に予約のうえ受診（予診票・保険証・診察券を持参）してください。
- ▶指定医療機関

毛呂山町	埼玉医科大学病院	かかりつけの人のみ
	長瀬クリニック	☎295-0708
	初野医院	☎294-7713
	ゆずの木台クリニック	☎295-5158
	柴崎皮膚科医院	☎295-6628
	おっぺ小児科・アレルギー科クリニック	☎295-5550
	ハピネス会川角クリニック	☎295-3959
	街かどのクリニック	☎298-5357
	HAPPINESS館クリニック	☎276-1832
	ふたばクリニック	☎227-3266

坂戸市	浅羽クリニック	☎284-1114
	坂戸西診療所	☎289-5111
	伊利医院	☎281-0431
	吉松医院	☎281-0532
	明海大学病院	☎279-2733
越生町	かあいファミリークリニック	☎299-6222
	越生メディカルクリニック	☎277-1119
	市川医院	☎292-3011

## ■おたふくかぜワクチン予防接種

- ▶対象 ①生後12か月以上24か月未満（1歳児）、②5歳以上7歳未満（小学校就学前の年長児）
- ▶接種回数 ①、②でそれぞれ1回ずつ ▶自己負担額 3,600円（1回あたり）
- ▶申込み 保健センターで予診票を交付申請（要母子手帳）後、指定医療機関に予約のうえ受診（予診票・母子手帳・保険証・診察券を持参）してください。
- ▶指定医療機関

毛呂山町	埼玉医科大学病院	かかりつけの人のみ
	長瀬クリニック	☎295-0708
	初野医院	☎294-7713
	おっぺ小児科・アレルギー科クリニック	☎295-5550
坂戸市	浅羽クリニック	☎284-1114
	坂戸西診療所	☎289-5111
	渋谷こどもクリニック	☎284-1881
	藤井小児科医院	☎283-7272
	花水木こどもクリニック	☎282-8732
	吉松医院	☎281-0532

越生町	かあいファミリークリニック	☎299-6222
鶴ヶ島市	厚友クリニック	☎272-3903
	しんまちクリニック	☎271-6154
	鶴ヶ島医院	☎285-0179
	みなくち小児科	☎287-5755
鳩山町	若葉こどもクリニック	☎279-0070
	鳩山第一クリニック	☎296-6800
	福島内科	☎298-0600
日高市	芳村医院	☎042-985-1433
東松山市	こどもクリニックいとう小児科	☎0493-34-4145
川越市	愛和病院	☎235-8811

▶問合せ 保健センター☎294-5511

# 町の無料相談

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更・中止となる可能性があります。

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	5/9(火)、5/22(月) 6/13(火)、6/26(月)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313 (要予約)
	行政書士	5/17(水)、6/21(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313
人権・行政相談	5/11(木)、6/9(金) 6/1(木) (人権相談のみ)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313	
成人健康相談	5/1(月)	10:00~11:00	保健センター	保健センター ☎294-5511	
	6/5(月)	10:00~11:00	役場 1階町民ホール		
電話健康相談	平日	9:00~17:00	保健センター ☎294-5511		
育児ほっと相談室	5/24(水)、6/28(水)	10:00~11:00	児童館内子育て支援室	保健センター ☎294-5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112 ④126	
子育て相談 なんでも話してみよう	平日 ※オンライン相談あり	10:00~15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820 (要予約)	
教育相談	平日	10:00~16:30	教育センター ☎295-2525 (電話相談可)		
心配ごと相談	毎月第2・4水曜日	10:00~12:00	社会福祉協議会 (毛呂山町川角303-3) ☎295-0601		
消費生活相談	毎週月・火曜日	10:00~15:00	役場相談室	役場産業振興課 ☎④214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内) ☎080-2274-1445		

① 雨のいたずら  
明治の末ごろ、葛貫から多和田(坂戸市)に出る山道(現在の西坂戸団地西側)を歩いていると山中で急に雨がザーザー降ってきたので立ち止まった。すると雨がやんでしまい、また歩き始めると雨がザーザー降ってきた。驚いて立ち止まると雨がヒタリ

今の子どもたちにもわかる妖怪の一つに「天狗」がいます。毛呂山にも天狗の言い伝えが残っており、身近な妖怪だったようです。天狗のイメージといえば赤い顔、高い鼻、鋭い目、鳥のようなくちばし、背中に羽根、または羽団扇で自由に空を飛べるといったものです。しかしその姿は山で修業する修験者(山伏)と共通点が多いことも知られています。毛呂山の天狗伝承も「鼻が高く、羽が生えていて、山奥に住み、子どもをさらう恐ろしい妖怪」というものだったようですが、言い伝えはユーモラスなものも多く、どちらかというと「いたずらもの」の伝承が残っています。毛呂山に伝わる伝承の一部をご紹介します。

## 歴史散歩

第347回

毛呂山の昔話  
～天狗と修験者～



葛貫の獅子舞に登場する天狗

このように天狗には山道で化かされるといふ話が多く、毛呂山にも江戸時代、山間部に修験者がいたため、山で修業する修験者と出会ったことが天狗の言い伝えをあと押ししたのかもしれない。

とやむ。衣類も少しもぬれておらず、空を見上げると満天の星空で雨など降るわけのない夜空だった。気持ちが悪くなり急いで家に帰った。どうやら天狗にいたずらされたと思ったようだ。

② 高山不動尊への山道  
高山のお不動様(現飯能市 高山不動尊)に向かう山道の、途中道幅が狭くなつたところを「四寸道」と呼んでいた。村のある若者がお不動様に願掛けをし、丑の刻(午前1時から3時頃)に毎夜お詣りすることにした。いよいよ目標の最後の日となった夜、喜び勇んでお不動様をめざして夜道を歩いていると、四寸道の松の木の下で天狗が舞台を作り大芝居を演じていた。若者は「おれ天狗め。おれの願掛けをばばむ気か」と思い、持っていた脇差(短刀)で「えいや」と切りつけた。すると「あはは」と大きな笑い声が出て、芝居の舞台もどこかへ消え失せていた。